

しだれ桜

2023年度 郡上市立八幡小学校
学校だより No.9 12月号
今年度の教育理念
「一人ひとりの可能性が拓く学校」

ファンタジーの世界へ

校長 野々田光則

ウォルト・ディズニーが作品を作ってから今年で100年目を迎えています。

ディズニー映画の1つである『パイレーツ・オブ・カリビアン』という映画は、ディズニーランドにある「カリブの海賊」というアトラクションがモチーフになっています。このアトラクションを考えたディズニーの言葉に次のようなものがあります。

宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、「？」には多くの宝が眠っている。そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。

「？」の中に入る言葉は「本」です。本には、宝を手にした時のような楽しいこと、嬉しいこと、ワクワクすることがたくさんあるということです。

八幡小学校の図書館には、9682冊の本があり、今年も新しい図書を169冊購入、71冊を寄贈していただきました。また、今年から月に2回程度、郡上市図書館の方が本を持ってきてくださり、学校で借りることができるようになりました（移動図書）。これにより子どもたちは多くの本と出会っています。

今、図書館の前には、図書委員会の子どもたちによるおススメの本の紹介があり、ある委員の子は『ともだちや』を紹介しています。『ともだちや』は『おれたちともだち』シリーズの一冊です。愛嬌のあるキツネとオオカミが「ともだち」としての日々を描いたストーリーで、私も子育ての中で子どもを寝かせる時によく読んだ絵本です。

絵本の中でキツネが「あしたもきていいの」と言った時、オオカミが「あさってもな」という言葉を返す場面があります。「うわあ、すてきな言葉だな、かっこいいな」と感じる場面です。子どもが眠りにつく前に、絵と言葉で心が温くなる時間でした。

12月6日の「ひびきあい集会」（人権集会）の中で福祉委員会のメンバーが人権に関わる取組として『にじいろの魚』の絵本の読み聞かせをしてくれました。この後の振り返りで、次のような感想をもった子どもがいます。（一部抜粋）

福祉委員会さんによる読み聞かせは「にじいろの魚」で、人を笑顔にするってこんなにうれしいことなんだと思いました。友だちを幸せにすることで相手も自分もうれしくなるから、もっとみんなと関わったり助け合ったりしたいです。

絵本は、絵と言葉が織りなす芸術であり、子どもたちが日常から離れ、物語の中を冒険にも似たワクワク・ドキドキの体験で、子どもの想像力や創造力を育むと言われます。絵本以外のツール（例えばおもちゃなど）でも、同じような効果が期待されますが、自分の内面世界を広げていくことができるものは、絵本ではないでしょうか。

各家庭での『家読』の取組も進んでいます。絵本やいろいろなジャンルの作品に触れて心が温かくなる、そんな冬休みを過ごしてほしいと願っています。



「人権週間」に関わる図書館掲示

「相手を思いやる心」を言葉に・姿に ～ひびきあい集会～

言われてうれしい言葉

- 第1位:ありがとう
- 第2位:うれしかったよ
- 第3位:すごい
- 第4位:まねしたい
- 第5位:たすかったよ



企画・運営をした福祉委員会



全校で合唱をしました。体育館中に子供たちの声が響き渡りました。どの子どもが自分の精一杯の声を出し合い、一つの歌を創りあげた瞬間は、感動的なものでした。



7月の「人権七夕集会」に考えた「こんな自分になりたい」という目標を振り返りました。高学年が、よさや頑張りを伝えていました。自分が認められている喜びを味わい、周りの仲間のことがもっと好きになっていくことでしょう。思いやる心でつながり合う、そんな八幡小学校になってくれることを期待しています。

地域の皆様

見守りをありがとうございます

ボランティアで子供たちの下校の見守りをしてくださっている「Aiわんパトロール隊」の方々、スクールサポーター清水さん、市の交通安全指導員の高垣さん、郡上警察署員の方、そして警察犬が来校し、子供の下校を見守ってくださいました。子供たちの日々の安全のために、ご尽力いただきありがとうございます。



1月の主な行事予定

- 9日(火) 授業開始
- 11日(木) 民謡指導(3年生)
移動図書(1・3・5年生)
- 17日(水) 心のアンケート
- 18日(木) 移動図書(2・4・6年生)
- 23日(火) 慈教保育園との交流(1年生)
- 24日(水) スキー研修(4年生)
*4年生保護者の方はお迎えをお願いします。
- 25日(木) 民謡指導(3年生)
- 26日(金) 八幡中入学説明会(6年生)
- 29日(月) 美濃和紙の里社会見学(4年生)
*4年生のみ弁当
- 31日(水) 4年生スキー教室予備日
*4年生のみ弁当